

昨年度の議題に係る報告事項について

海匝保健所 総務企画課

1 薬物乱用防止教室の実施について

令和7年2月6日付けで管内三市教育委員会及び管内県立高等学校宛てに通知し、申込みのあった施設で薬物乱用防止啓発教室を実施した。令和7年10月20日（資料送付時点）までの実績は下表のとおり。

日付	実施場所	受講者
6月 2日（月）	旭市立第二中学校	中学生 : 740名
		教職員 : 60名
6月 11日（水）	旭市立琴田小学校	小学生（6年） : 16名
		教職員 : 2名
6月 12日（木）	銚子市立銚子西中学校	中学生 : 333名
		教職員 : 25名
6月 17日（火）	銚子市立椎柴小学校	小学生（5・6年） : 13名
		教職員 : 4名
6月 19日（木）	旭市立海上中学校	中学生 : 257名
		教職員 : 25名
6月 20日（金）	匝瑳市立野栄中学校	中学生 : 153名
		教職員 : 30名
9月 2日（火）	千葉県立匝瑳高等学校 定時制の課程	高校生 : 28名
		教職員 : 10名

計7校、児童・生徒数1, 540名 教職員156名 受講者計1, 696名

【主な講義内容】

（1）薬物乱用について

（DVD視聴、一般医薬品の乱用（オーバードーズ）、違法薬物の種類 等）

（2）最近の薬物乱用の状況

（県内・全国の検挙状況、オーバードーズの増加）

（3）クスリの誘惑に遭遇したら（ケーススタディ、相談先の紹介）

2 災害医療に係る訓練の実施について

令和6年度は、令和7年2月1日（土）に総合病院国保旭中央病院が実施する災害対応訓練に併せて、「合同救護本部設置訓練」を実施予定であったが、令和7年1月からの高病原性鳥インフルエンザの連続発生により、職員の派遣ができず見送りとなった。代替として、令和7年2月19日（水）に所内で「海匝地域合同救護本部設置訓練」を実施した。

【訓練概要】

- (1) 被害想定：茨城県沖地震 最大震度7（管内震度5強）
- (2) 参加者：所内災害即応体制の職員を中心に12名
- (3) 実施内容：合同救護本部設置から情報収集、報告までのロールプレイ

令和7年度は、令和7年12月8日（月）に、海匝地域振興事務所、管内三市及び管内消防本部と連携し、「合同救護本部設置及び医薬品搬送訓練（仮）」として実施することを予定しており、準備を進めている。

3 海匝保健所（健康福祉センター）の仮移転について

予定していた銚子の庁舎の仮移転については、令和7年6月29日（日）に滞りなく完了し、令和7年6月30日（月）から、北総教育事務所 東総研修所庁舎（銚子市台町2186-2）で業務を再開している。

移転にあたって、令和7年6月16日付で「海匝保健所だより 臨時号」（別紙）を発行し、所内での配架、関係機関へ送付・周知の依頼、ホームページへの掲載を行った。

また、銚子市・旭市宛てに広報への掲載を依頼し、「広報ちょうし6月号（No. 1281）」、「広報あさひ No. 479（令和7年6月1日号）」に庁舎移転のお知らせが掲載された。

元の庁舎は現在解体工事を進めており、仮移転の期間は、令和9年の12月頃まで（予定）としている。